

いつもお世話になります。今から 39 年前のこと、ヒマラヤの峰々に見守られた小さな仏教王国、ブータンの若き国王が世界の注目を集める演説を行いました。「国にとって大切なのはGNP（国民総生産）よりGNH（国民総幸福量）なのです」。ブータンの教えは、これからの日本にとって最も必要なことかもしれませんね。

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【揺るがない商売のために「コツコツ」の達人】

ちょっと意識を傾けると気づくものですが、世の中には、いろいろな場面で「三つの“あ”」があるようです。ある小学校の先生が授業の中で生徒たちに教えているのは「あいさつ、あんぜん、あとかたづけ」。



ほかの小学校では「ありがとう、あいさつ、あたたかいところ」。

恩師からの大事な言葉だという「あらそわない、あなどらない、あせらない」。

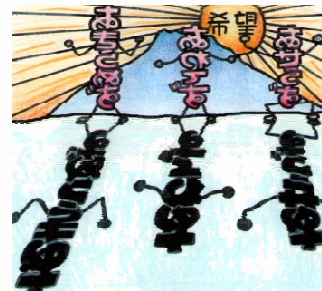
成功本のメッセージを要約すると「ありのまま、あせらない、あたえ続ける」。

脇道に逸れますが、ダイエットの大敵は「あぶら、アルコール、あまいもの」。

そして、いつの世も心に残る名言として、多くの人たちが胸に刻んでいる言葉は「あせらず、あわてず、あきらめず」です。

やってもやっても思うような結果が出ないときは、気持ちばかりが焦ります。焦って心に余裕がなくなると優先順位を誤るので、「今」やるべきことを見落として「目先」のことばかり気になります。目の前のことに取り組むのが悪いわけではありません。目先の事態に翻弄されて自分のペースが乱れることがまずいのです。何のためにやっているのかが見えなくなると人は混乱します。頭がぐちゃぐちゃになって集中力がなくなり、やる気がわいてきません。だから諦めてしまいます。

「あせらず、あわてず、あきらめず」は商売にも通じる「三つの“あ”」でしょう。仕事ははかどらないときも焦る気持ちを抑えて落ち着き、たとえ問題が山積みでも慌てることなく今やるべきことに少しずつ取り組み、決して諦めないこと。もっと言えば、どんなときも「あせらず、あわてず、あきらめず」の精神で日々コツコツ続ける商売は揺るぎません。日々のコツコツは大変地味ですが底力があるからです。



もし商売の達人がいるとすれば、それは「コツコツ」の達人でしょう。どんなに大変な状況でもコツコツと頑張っている人は大勢います。「あせらず、あわてず、あきらめず」は希望につながる「三つの“あ”」でもあります。今一度、コツコツの達人を目指して「あせらず、あわてず、あきらめず」精神でいきましょう。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：農業生産法人】

「農業経営を行うために農地を取得できる法人」のことであり、株式会社という形態のほか、合名会社や合資会社などの形態をとる場合もある。既存の農家が大規模化を進める際にこれを立ち上げたり、食品関連産業や建設業などの企業が農業参入するために設立する場合が多い。効率的な経営管理や対外的な信用力が増すことによる販路開拓などの経営上のメリットや税制面での優遇措置などがあるが、その反面、条件や規制も多い。

痛快! えだまめ君

画: はりひろみ



知っとこ!「税務のマメ知識」

【38万円の「扶養控除」が廃止に!】

「控除から手当へ」という流れで、平成23年度から「扶養控除」が改正されました。従来は一般の扶養親族のうち16歳未満の人に対する扶養控除が1人当たり38万円ありましたが、今回の改正で廃止となりました。また、16歳から23歳未満の特定扶養親族については、扶養控除38万円に加えて25万円の控除がありました。しかし、16歳から19歳未満においては、この上乗せ分の25万円が廃止となりました。なお、年齢はその年の12月31日現在の年齢で判定しますので、今年であれば平成23年12月31日現在の年齢ということになります。

例えば今回の改正により、サラリーマンの夫と専業主婦の妻、子どもは中学生(14歳)と高校生(17歳)という4人家族の場合では



どのくらい控除が無くなるかを計算してみましょう。まず、中学生の子どもの扶養控除38万円、さらには高校生の子どもの上乗せ分の控除25万円、合計で63万円の控除が無くなります。「控除」が無くなり、所得税などが増える代わりに「子ども手当」が支給されるため、「控除から手当へ」という図式になります。しかし、今の日本は新たなスタートに向けて多額の予算が必要となるため、これからいろいろと考えなくてはならないのが現状です。そのため、今後の「扶養控除」の動きについても目が離せません。

今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

A型

交際運が活発な上、新たな人脈を築くのにも良い月ですので、人が集まる場所には積極的に顔を出しましょう!

B型

些細な不安から焦りが出そう。慌てて動くミスを起こしやすいため、よく熟考してから行動に移しましょう。

O型

思うように事が進まないときは無理をせず、問題点の改善に全力を注ぐと、月の後半には好機が巡ってきます!

AB型

新しく何かを始めるのに良い月です。スキルアップを目指して勉強したり、語学などを磨いておくとな後々吉に!

税務統計から見た法人企業の実態

国税庁の発表によると欠損法人(赤字の会社及び黒字であっても繰越欠損控除により課税されない会社を含む)の割合は67.6%とリーマンショック以降の不況が数値に表れています。売上10万円当たりの交際費等は226円となっています。詳細はHPを御覧ください。検索ワード=「平成21年度分 会社標本調査」

斉藤会計事務所

斉藤会計.JP

〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-23-8 タチハラビル 501

TEL: 03-5368-8761

FAX: 03-5368-8763

<http://www.saito-kaikei.co.jp>

6月の税務・労務

- 4月決算法人の確定申告
・・・6/30
- 10月決算法人の中間申告
・・・6/30



7月の税務・労務

- 5月決算法人の確定申告・・・8/1
- 11月決算法人の中間申告・・・8/1
- 所得税予定納税（第1期）・・・8/1

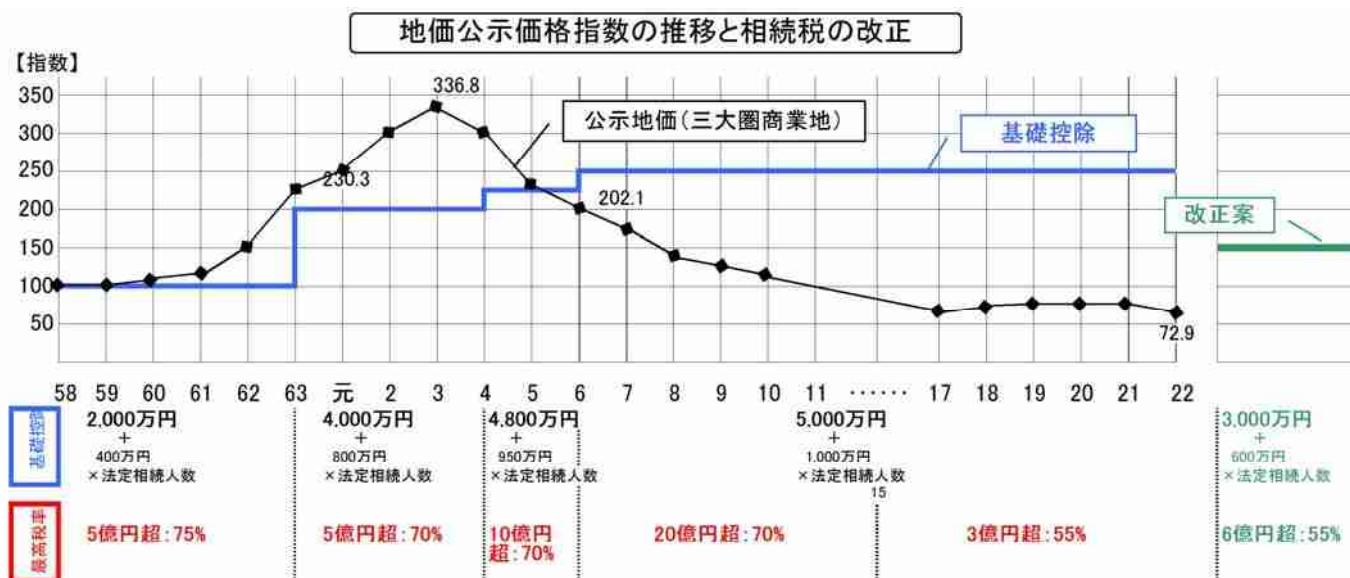
税務・経理のトピックス

① 資産課税（相続税に関して）

相続税は格差是正・富の再配分の観点から、重要な税です。しかしながら現在では、相続税は死亡者の4%にしか課税されておらず、相続税が再配分機能を果たしていないと言えます。下記の図の様に、相続税の基礎控除は、いわゆるバブル期の地価急騰で相続財産の価格上昇に対する負担調整を行う為に引き上げられてきました。その後地価が下落を続けてきたにもかかわらず、基礎控除はそのまま据え置かれてきました。

昭和58年を100とした場合に現在72.9(三大都市地価公示)となっています。

平成23年改正大綱で基礎控除が引き下げられたものの、改正が遅かった感もあります。



② 租税回避防止に対する法整備（武富士事件の教訓）

消費者金融大手武富士の創業者武井保雄(故人)氏から長男の武井俊樹氏に対する株式(武富士株 1,569万株を持つオランダ法人の株式の90%)の贈与をめぐる税務訴訟でH23年2月18日に『贈与された当時の長男の住所は香港で日本への納税義務はなかった』と述べ、納付済みの、延滞税を含めた約1600億円に還付加算金約400億円を含めて2000億円が還付される。(00年の税制改正で、贈与する側か受ける側のいずれかが過去5年間以内に日本に住んでいれば、海外資産も課税対象となった。)

国税庁OBは新聞紙上で『意図的な租税回避なのに法律に明確に違反していなければ課税出来ないとすれば租税回避が野放しになる...』とのコメントを出している。

これに対し当該裁判官は、『租税回避を心配する気持ちは分かるが、租税法律主義に基づく法執行が行われるべきで、課税庁の法解釈だけで運用されるべきではない。明確な根拠が認められないのに、安易な拡張解釈、類推解釈などの特別の法解釈や特別の事実認定を行って、租税回避の否認をして課税することは許されず、法解釈によっては不当な結論が出る可能性があるのならば、立法によって解決を図るのが筋である。』との補足意見を発表している。

(斉藤会計.JP 河上)

こんにちは。生涯学習パソコン・インストラクターの中田由美子です。

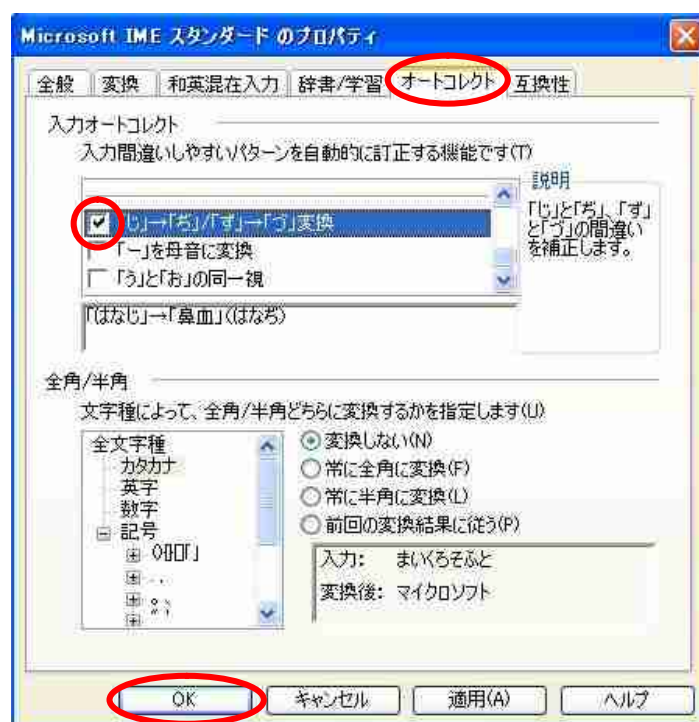
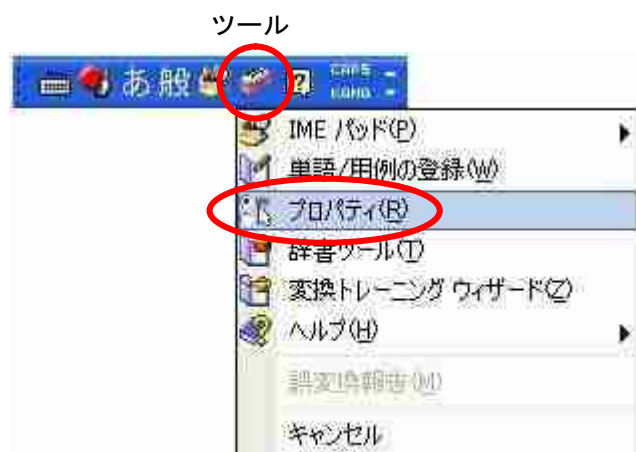
パソコンに関する身近な疑問の解決法や重宝するコツ、楽しいうんちくなどをお届けします。

「稲妻」は「ず」？「づ」？ 間違って入力しても正しい漢字に変換できる方法

「稲妻」の正しい読みは「いなずま」ですが、「新妻」の読みは「にいづま」です。同じ「妻」という字を「ずま」とも「づま」とも書きます。パソコンで入力する時も、正しく「いなずま」「にいづま」と入力した方が早く変換が出来ます。「じ」と「ぢ」も同様に、どんな場面でどちらを使うかが現代仮名遣いで決められています。一例として、地（ち）を使っている地面（じめん）等があります。もちろん、正しい読みを知ることが大切ですが、入力を間違っただけでパソコンで思い通りの漢字に変換出来ないというのは煩わしいですね。日本語IMEには「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」を修正する機能があります。あらかじめ設定しておけば間違っただけで入力しても正しい漢字に変換することが出来ます。

「じ」→「ぢ」／「ず」→「づ」の設定方法

- (1) 日本語入力の状態で、IMEツールバーの「ツール」→「プロパティ」をクリックする。
- (2) Microsoft IME スタンダードのプロパティの「オートコレクト」をクリックし、入力オートコレクトの中の「「じ」→「ぢ」／「ず」→「づ」変換」チェックボックスを「ON」にする。
- (3) Microsoft IME スタンダードのプロパティを「OK」して閉じる。



熟語の他に地名等も入力が難しいですね。最近では道路標識にローマ字が使用されていて、例えば「会津」は「Aizu」と表記されていますが、パソコンで「aizu」と入力しても正しい漢字変換が出来ません。これは地名等の表記にはヘボン式のローマ字が使用されているためです。ヘボン式のローマ字は、英語の発音に準拠するため「ず」も「づ」も「zu」と表記されます。このように地名や駅名の表記、パスポートの氏名表記の際にはヘボン式を用いることが決められていますが、パソコンの文字入力にはあまり向かないようです。

(解説仕様:Windows X P IME2003)